

テーマ ものづくり

組合がインドネシアに海外拠点工場、組合員のグローバル化を推進

富山県金型協同組合

インドネシアに組合出資の現地法人を設立、ジャバベカチカラン工業団地に組合工場を整備、組合の技術者を派遣し操業を開始した。

背景と目的

当組合の組合員の多くは自動車産業向けの金型メーカーであり、自動車産業のグローバル化の中で国内マーケットの縮小は避けられない状況にあった。そのため、組合の売上もピーク時に比べ半減する厳しい局面にあった。

厳しい局面を乗り越えグローバル化に対応するためには、組合が海外展開に挑戦し、組合事業の確保を図りつつ、中小の組合員の先導的役割を果たす必要があった。そこで、組合の海外工場を組合員が活用することにより、海外展開の足掛かりを付けることを目的として事業に取り組んだ。

事業・活動の内容

平成23年7月、インドネシアに現地法人を設立し、当組合の理事長が社長に就任した。海外工場はインドネシアの首都ジャカルタから約35キロメートルの位置にあるジャバベカチカラン工業団地に、敷地2,070平方メートル、鉄骨平屋建て943平方メートル、1億5,000万円の事業費を投じて平成24年2月に完成した。

組合員の余剰設備であるボール盤、平面研削機、深穴加工機、高度なマザーマシニングであるMCジグボーラーを持ちこみ、新規にマシンニングセンターと三次元測定器を導入した。

現地法人設立から理事長と行動をともにしてきた組合営業部長が、副社長に就任し、組合から派遣した日本人技術者と現地で採用した技能者を合わせて10人で操業を開始した。

活動の成果

組合の意思決定が迅速に行われ、短期間でインドネシアに現地法人を設立、工場を整備し、操業まで実現した意義は大きい。

現在、操業間もないことから青果は今後を持ち越されるが、中小の組合員にとっては、海外での営業展開などに直ちに活用できるなど、大きなチャンスを提供したといえる。徐々に、組合員が営業社員



▲「PT.TOYAMA PRECISION MOLD INDONESIA」外観



▲「PT.TOYAMA PRECISION MOLD INDONESIA」内部

を現地に送り、組合工場を利用することにより、現地での仕事が確保できるメリットなど、今後の期待は大きい。

富山県金型協同組合

住所：〒939-1315
富山県砺波市太田1889-7
設立：昭和44年9月
出資金：39,020千円
電話：0763-33-5709
URL：http://www.kanagata.or.jp/
業種：その他の一般機械器具製造業
会員：19人
組合専従者：32人